# 第35回活動報告会

## • はじめに

今年度の活動報告会は、当会の創立 20 周年記念行事として企画されました。海外で多彩な職務経験のあるコーディネータと、アジア、中東、中米、南米に派遣され多くの異文化交流経験を持つ 3 名の講師が会場の皆さんと交流しながら世界の多様な文化理解を深められるように進められました。講師 3 名はいずれも特徴のある経歴の持ち主で、聴講者との質疑応答も活発に行われ企画目的は達成されました。以下はその概要です。

# ■ 活動報告会情報

- 日 時 2023年10月15日(日)13:30~16:40
- 主 催 千葉県 JICA シニアボランティアの会
- 共 催 JICA東京、浦安市国際センター
- 会場 浦安市国際センター 研修室1と2連結
- 来 賓 青年海外協力隊千葉 OB 会 西村 邦雄 会長
- 参加人数 26 名 (一般 5、会員 18、来賓・共催・浦安市教育委員 3)

# ■ 会長・来賓・元会長のあいさつ・メッセージ

# ■ あいさつ

当会の中西陽典会長の開会挨拶に続き、来賓の青年海外協力隊千葉 OB 会の西村邦雄会長と当会の品川洋之助2代目会長が挨拶されました。また、2代目、4代目、7代目各会長からメッセージが寄せられました。

## ■ メッセージ

# 品川 洋之助 2代目会長

「千葉県 JICA シニアボランテイアの会 20 周年記念に際して」 2003 年春、畏友及川淳一氏より「千葉県に JICA シニアボランテイア OB 会を作ろう」との呼びかけがあり、それに呼応して同志数人が 集まり創立準備に入りました。当時の千葉 JICA デスク塩沢かおりさんが連絡事務、会場の準備など全面的に協力してくださった。

2003年7月5日設立総会と懇親会を開催し会員32名で発足しました。初代会長は及川淳一氏で彼は元職員であるのでJICAの内情に詳しく情報も正確でした。梅谷陽子さんが副会長となり青年協力隊OB会の「作文コンテストの選考に参加するなど連携に注力しました。小生は役員のまま同年9月家内がスリランカ・コロンボ大学の日本語教師として赴任したので同地に随伴し、2004年6月帰国しましたが、及川さんから会長就任の依頼があり、それを受けて当会2代目会長と



中西陽典会長



西村邦雄 OB 会会長



品川洋之助 2 代目会長

なりました。彼は JICA シニアボランテイアとしてドミニカに同年 10 月に赴任しました。

当会の発足当初の経緯を紹介してメッセージといたします。

## 津田 正臣 4代目会長

創立20周年お慶び申し上げます。

当会は千葉県における地域住民の国際理解の推進に大きく貢献してまいりました。当会の更なる発展と皆様のご健勝を祈念しお祝い申し上げます。

# 三輪 達雄 7代目会長

会の創立20周年、おめでとうございます。

JICA のシニアボランティアの定義の変更により、今後の本会の存続は厳しいものになっていくと想像されますが、今後の役員各位の創意工夫を期待します。

# ■ 企画説明 登内 明 コーディネータ 「異文化社会から学ぶ」

今年度の活動報告会は、当会の創立 20 周年記念行事として企画されました。それにふさわしいアジア、中東、中米、南米に派遣され多くの異文化交流経験を持つ 3 名の講師の方々に実体験から学んだ事を話してもらい皆さんと交流しながら進めます。3 名の講師は大変特徴ある経歴の持ち主ですのでご期待ください。

# 

# ■ 講演 北垣 勝之 講師 「人生は異文化と触れ合う旅」

## ■ はじめに

文化とは人の営みからしょうじたもの、異文化もあれば同文化もある、それらの事象は多様である、感性・環境・時代により変化する。

# ■ 異文化気づきの宝庫メキシコ - 牧場の中の国立専門技術教育 機関 CONALEP

JICA の派遣先は、牧場の中に建てられた後期中等教育の国立専門技術教育機関 CONALEP。ボスはオックスフォード数学科卒 Doctorで、CP はオーストラリア人。学生が学校を評価するアンケートから無作為抽出のデータ約 6000 件を SPSS 駆使し集計分析。年一度先祖と邂逅ハロウィーン、子どもも一緒に仮装・骸骨・ピニャータ遊び、メキシコ人は家族を大事にする人たち。親日先進国メキシコの地盤は固い。



#### ■ 髑髏(しゃれこうべ)を活かせカンボジア - キリングフィールドと地雷(ポルポト)

カンボジア・バッタンバンにある職業訓練所に 2003 年 4 月 JICA から派遣。各地にあるキリングフィールドと地雷、ポルポト最後の拠点バッタンバンでは谷間の洞窟に骸骨堆積し周辺は地雷原。ポルポト後には国連はじめ救済援助のオンパレード。両足なくした男性が膝行しながらオートバイ修理をこなす。逆境に負けず必死に生きる人間がいた。これこそクメール再興を促す真の姿ではないか、貧困の底から立ち上がれ。

# ■ 無から裕を生むヨルダン - 石油は出なくても肥料は作れる

ョルダン国は戦後列強のかけ引きと線引きから生じた。原油のない砂漠の中でどうやって国を興せばよいのか。日本の企業が肥料に目を付けた。鉄路が運ぶリン、カリは死海からトラックで、後は窒素を得るだけ、日ヨ合弁会社が硫安肥料を日本へ送り出す。ホワイトカラーはヨルダン人だが、タイル工場はエジプト、縫製工場はバングラ、GS はイエメンの出稼ぎ労働者で国は持つ。肥料のようなモノ、出稼ぎ労働者のヒト、そして国王率先の資金集めのカネ、これら国策推進に必要な三要素が揃って無から裕を生んだヨルダン。

## ■ 世界融合の原点ホンコン - 'Small is Smart' or 'Giant is Great'

香港で最初に異文化を感じたのは使用言語である。英国統治下の香港では、仕事上の言葉は英語、日常生活上の会話は広東語が普通である。香港の中国返還から四半世紀が過ぎようとしている。金の卵を産む自由都市を専制大国が呑舟。それでも中国はアジアのみならず世界を牽引する国であることに変わりはない。なぜならアジアは一つ、唇歯の国々はみな同文化圏であり、香港のような機能的な都市か、それとも事大主義専制国家か、中国は都市国家の連合体として鳥瞰すると理解しやすいだろう。

# ■ 「三学の戒め」とともに歩んだ異文化の旅路

# 少にして学べば、則ち壮にして為すことあり 壮にして学べば、則ち老いて衰えず

老いて学べば、則ち死して朽ちず

佐藤一斎「三学の戒め」、このベクトルに牽引され異文化の世界を認知・洞察・熟知へと促されてきた。昨 今の世相は先の見えない世界へ?しかし人々が手を取り合い理解を深めていけば、道は開けてくるでしょう。

# ■ 質疑応答の一部

**聴講者**:異文化と同文化とありますが、同文化を感じた体験はありますか?

講師:それはやはり中国ですね。

**聴講者:**カンボジアで障碍者の方が普通に仕事をされている、どうして日本ではないのか?

**講 師**:家族を養わなくちゃいかんとか、そういうことがある。若いからできるということもある。若い人 はみんな前向きです。悲壮感がない。貧しくてもそれが普通だと思っている。ポルポトへの恨みもない。

**聴講者**:身体障碍者がバイク修理している、何で日本にはないか、そうじゃなくて、日本にはいろんな行政 手段がある、カンボジアはそういうことが行きわたらないためじゃないですか?

講師: そうですね、日本は補助金だとかなんだとかあります、カンボジアでは補助金なんてないですよ。

# ■ 添野 良一 講師 「剣道ボランティア 71 歳の今、気づいたこと」

# ■ 自己紹介

私は千代川村で生まれました。貧しいので防衛大学校に入り、陸上自衛隊に55歳まで勤務しました。その後外務省に入り、イラク、ウズベキスタン、マレーシアに60歳まで勤務しました。マレーシアのコタキナバルにいた時、剣道のボランティアになろうと思い、定年後剣道五段を取ってウルグアイに行きました。



#### ウルグアイの紹介

日本の北部小と同じ緯度、ウルグアイの気象は日本と同じようです。しかし、日本と比べて、マイルドです。一番の高地からも山が見えません。元々はパンパで草しかなかった。ここに主に牛が放し飼いにされています。パンパは、土壌が薄く、すぐ下に岩盤があるので、根が浮いたような草木がみられます。

交通の状況:道路脇に駐車が多い、道そのものは広いので許されるのでしょう。車は、フランス製、アメリカ製、中国製、韓国製が中心で、日本車は本当に稀でした。それは、日本のカローラが税金の関係で450万円ぐらいになるからです。バイクもほとんどは、中国製。中国と韓国が活躍していると思いました。

典型的料理は、アサード、焼き肉です。牛がたくさんいますからビーフは安い。男はアサードの焼奉行: アサードを作る時、最初に火を起こし、燠を広げて肉を焼く、日本のバーベキューと同じです。ウルグアイでは大事な男の仕事なんだそうです。どこの家庭でもお父さんが料理をするものだそうです。

#### 剣道ボランティア活動

日本から遠く離れた国でも約50人が剣道と居合道をしていました。50人の人は、それぞれの6つの道場に所属して毎日、夜を中心に剣道、居合道をしていました。昼間は仕事をしてからです。特徴ある道場を紹介します。「大和道場」の様子、太鼓や鳥居の装飾を全部自分で作ったそうです。掛け軸は、日本に来た時に買ったそうです。日本の旭日旗が壁に貼ってあり、日本の右翼らしい雰囲気で驚きました。

# ■ 世界の武道、剣道の現状

打ち終わって抜けていくまでの姿勢がしっかりしていないと一本にはなりません。剣道とフェンシング、世界の競技人口は、どちらが多いと思いますか?実は、剣道の方が競技人口は5倍もあるのです。剣道にはどうして魅力があるのでしょうか。剣道には通常のスポーツの目的に加え第2の目的「美の追求」がある。精神的に美しい人間になる目的が、人種が違っても魅力を感じるのではないかと思います。

# ■ まとめ(私の気づき)

# 実体験が重要である

剣道の審判、いじめ、貧乏、人間関係、マイノリティーの経験、海外の経験、留学、体験-国内旅行、公民 館の講座、援農ボランティア、読書等、実体験というのは非常に大事なんじゃないかと私は思います。

# 日本文化は最高レベルとわかるだろう

武道、車、安全な社会、国土、指導者、天皇、こういったことを知れば日本文化というのは最高のレベルだろうと分かると思います。比較と忘却が幸福を妨げる:自分だけのものを持っていれば、最高のありがたさというものを忘れなければ、いつまでも幸福でいられるんじゃないかと思います。

# 夢(思い)は必ず実現する

子供の頃に、地球の裏側があるんだからそこに行ってみたいと思ったんですが、実現するとは思わなかった。でもウルグアイに 64 歳の時に行けました。夢は最初から思っていれば必ず実現すると思いました。最後に、臨終の時になって後悔することは実際やらなかったことだと言いますから、最後までやれると思ってすることがいいんじゃないかと思いました。こういったことを気付きました。

# ■ 質疑応答の一部

聴講者:フェンシングと剣道の比較で驚きました。海外協力隊での関与はどの位あるんですか?講 師:協力隊には必ず剣道もいるし、柔道もいるし、合気道もいます。帰国報告会でも報告されています、中南米では必ずいます、行ってみたい人も必ずいます。

**聴講者:**昔子供の頃剣道習ってたんです、2級でやめちゃったんですけど。始まる前と後に黙想ってやります、それと道場訓というのを唱えるんですが、そういうのは外国ではやるんでしょうか?

**講 師**: 道場訓はやりません。ただ黙想とか日本語でやります。小手とか面とかみんな日本語です。教育も難しくない、自分が見本を示してこのようにやりなさい、もう一遍やりなさいとかで、他のボランティアと違って教育そのものは楽だと思います。第一、生徒の方がやりたいと言って来てくれるんです。

# ■ 中村 時夫 講師 「素敵なパラオの人々」

# ■ パラオの歴史

航海時代にスペインが南の島々を見つけた、第1次大戦の時ドイツが負けたので、ドイツが持っていた南の島々、サイパン、パラオ、ミクロネシアの連邦は全部日本の統治下になった。パラオの生活がいっぺんに変わりました。しかし、1941年に日本軍が真珠湾を攻撃して太平洋戦争が始まりました。南の島々に日本の兵隊いるので、厚いコンクリートの本部もアメリカ軍の爆撃によって破壊された。1947年からパラオはアメリカ領になりました。パラオは1994年に独立して、ペリリュウ島などは戦争の遺跡観光地です。

#### ■ IICA の仕事

私はパラオの教育省に派遣されて、最初の週に JICA の事務所から 大統領官邸に大統領に挨拶に行きました。私の仕事は算数、数学のカ リキュラム改訂です。各学校をまわり、授業の様子、先生の指導方法、 児童・生徒の授業態度、各授業でのノートを確認しました。その結果、 基礎計算理解不足が分かったので、私は 30 問の基礎計算の問題作っ て、全 16 校の 5 、6、7、8 年生に試験をしました。結果のグラフを



校長会に出したら校長先生はグラフを見て「アタマサビテル」、パラオでは「頭錆びてる」と言うんです。80 点とか 90 点に近い生徒には、基礎計算問題と JICA マークを印刷した黄色い T シャツをあげました。

先生の指導方法にも問題があるので、先生方にも問題をやってもらった。結果を見て、どこでつまづいているか分かったので、何回も指導しました。もう一回テストすると 2 人の先生が満点取ってくれて良かったと思いました。各学校をまわったときに小学校で運動会があって参加したこともあります。

パラオの高校をまわって反省すべきことに気づいたので、帰国前、校長先生に、パラオの高校の皆さんはパラオを背負って行く大事な生徒さんです、パラオの中心人物となるようしっかりご指導をお願いします、と連絡し、校長会の時にその話をしました。食事会の時の写真で見ると、私の顔はパラオの人と同じ色になっていてお前もパラオ人になったなあと言われ、やっとパラオの仲間に入れたのです。先ほどの戦争でたくさんの兵隊さんが亡くなりましたので、私たち日本人は年2回墓地を掃除しました。

いよいよお別れの時です。帰国するメンバーと一緒に大統領官邸に挨拶に行きました。これが国務大臣で、これは大統領から感謝状をもらったところです。パラオの皆さんありがとう、とても楽しい 2 年間でした。

#### 帰国後の出前講座

帰ってからは、出前講座をしました。特に学校に行く場合は、学年主任の先生に、パラオの話をしますので事前にプリントについて調べるよう配ってください、私が講座の 1 週間前に取りに行きますからと言って、全部回収しました。そしてどのように調べたのかを全部チェックして当日全部の児童・生徒に返しました。出前講座の参考までに紹介させていただきました。おあとがよろしいようで。

# ■ 質疑応答の一部

コーディネータ:お配りした資料は、中村さん最後に話されたある小学校で使われたプリントです。事前にこれを生徒さんに渡して調べてもらい、それを中村さんが事前に回収して一人一人チェックしておく。そして当日またこれを話題にする、こういう工夫があるとまた次回もお願いしますという依頼が来るんじゃないかと思うんですね。こういう努力は、今後出前講座を進めるにあたって参考になるものだと思います。

**講 師**:生徒にプリントを調べてくださいと言っても、パラオの中身は分からないわけですから、各教室にこういう写真を全部貼ってもらいまして、あるていど予想がつくようにとお願いしました。(写真を回覧) **聴講者**:私中村先生の講演に4回、5回行きました。毎回アンケートを出しているんです。多い時は、5年

6年150人分のこともあるし、50人位もある、それを毎回チェックするんですね、ほんとに対話型のすばらしい出前でした。シニアボランティアの会の出前講座の講師の皆さんを指導してもらいたいと思いました。 講師:発言者は、私のさくらですから(笑い)。

**聴講者**:私も役員の時、中村先生の話を聞きました。今日のお話のなかでの質問です。写真を見た限りでは 女性が多かったように思うんですけれども、それは何か理由があるんでしょうか?

講 師:だいたいパラオでは女性の方が上位ですね、何か女の人が偉いんですよ、かかあ天下みたい。

コーディネータ:毒蛇のハブに噛まれて、蛇に聞いたという話のことで、「お前毒持っているのか?そしたら蛇は言った、"Yes, I have."」(笑い)このジョークって小学校でもやるんですか?

**講 師:**小学校は、英語がそこまで行っていない、中学校と高校ではします。確認しながらやらないとね、 確認することは教育の大事なところです。

# ■ 全体まとめと閉会のあいさつ

コーディネータ: 有難うございました。他にご質問なければ、本日の3名の講師の方、非常に異色の3名だと思いましたけれど、もう一度講師の方ご起立お願いします。北垣さん、添野さん、中村さん3名の方に盛大な拍手をお願いします。

#### 閉会のあいさつ

当会の佐々木英夫副会長が閉会挨拶をおこない、会は滞りなく終了しました。